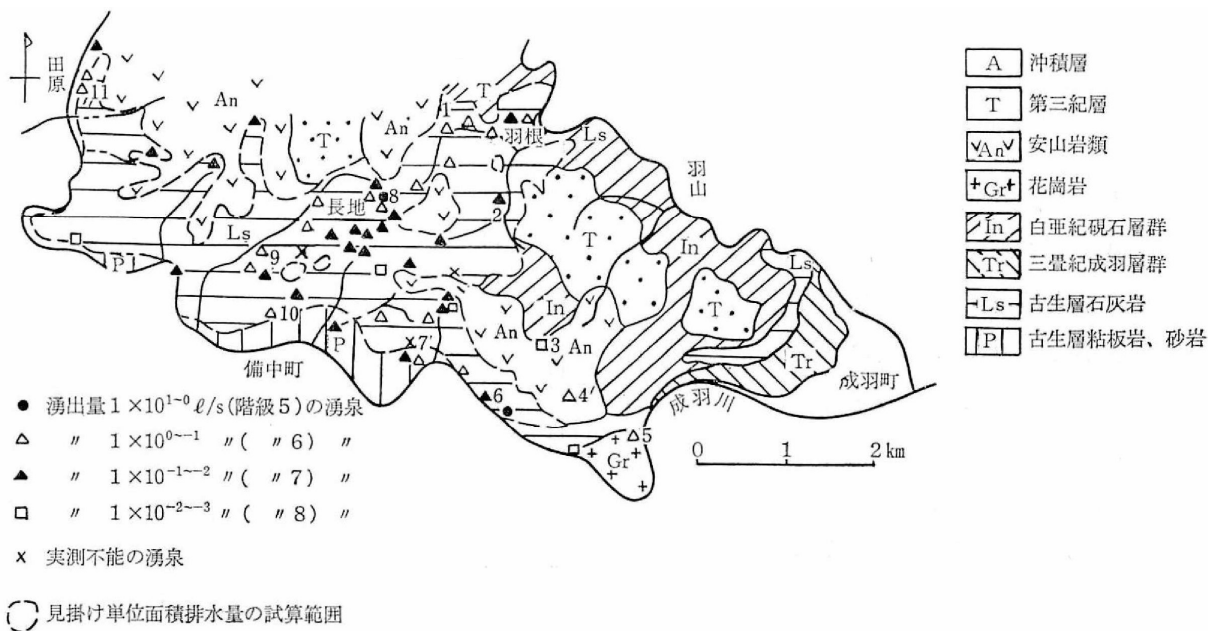


## 地形・地質

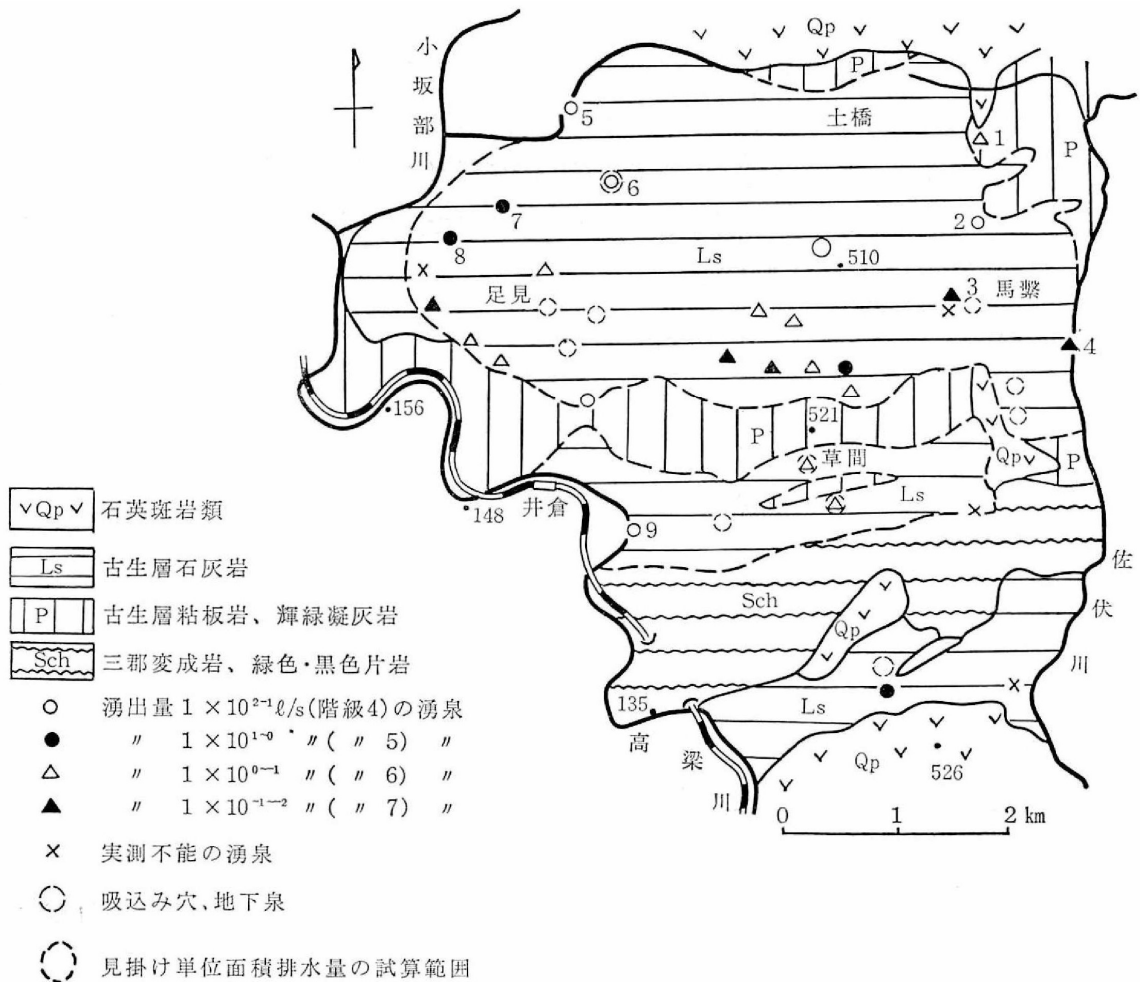
草間台地は阿哲台地の一部で、標高 350~500m の緩やかな起伏をもった山頂平坦面です。台地にカルスト地形が発達します。成羽台地は標高 300~500m の緩やかな起伏をもった山頂平坦面で、中央部~西部にかけてカルスト地形が発達します。



成羽台地の水文地質図

## 地下水

草間台地・成羽台地ともに、地下水は石灰岩の地域に分布するカルスト泉（石灰岩の亀裂や割れ目から湧出する湧泉）がほとんどを占めます。カルスト泉は火山の湧泉ほど量的に多くありませんが、無水地帯とされてきた中国山地の中で、特殊な湧泉地帯として人々に親しまれ、利用されてきました。



草間台地の水文地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）